

- 1) 令和5年度在宅医療強化支援事業
情報交換会報告
- 2) 小郡三井の現状と今後についての確認
- 3) 在宅介護医療連携センター職員採用
のご相談

令和6年4月12日金曜 小郡三井医師会 理事会
地域包括ケアシステム・医療情報担当
しらさぎ苑 柳 大三郎

- 在宅医療は診療所の専有業務ではなくなりつつある。

地域によっては、病院の在宅医療部署を充実させなければならない地域も出てきます。

在宅医療も地域医療構想の一環として体制整備を再考して下さい。

- それぞれの地域特性に沿った診療圏（圏域）を意識した施策をお願いします。

既存の在宅医療関連会合に隣接医師会の担当理事等をオブザーバ出席いただくなど
隣接医師会間の情報交換・共有をお願いします。

- 令和5年度以降、小児在宅医療の重要性が大きくなってきます。

各医師会で相談窓口（担当者）を明確にして下さい。

提供体制は少しずつ整備されてきていますが、小児在宅医療は1例毎の対応になります。

4地区別検討会での議論を参考に各医師会で受け皿づくりを進めて下さい。

移行期（トランジション）医療の窓口、マッチングを地域で進めて下さい。



飯塚圏域における 5ブロック地域包括ケア推進構想

飯塚医師会
副会長 岩見 元照

5ブロック医療・介護連携拠点病院 8病院

(2) 鎮西・二瀬・菰田・飯塚・飯塚東地区

担当: 飯塚市立病院(250床)(地域医療支援病院)
共立病院(139床) 児嶋病院(44床)



飯塚病院(地域医療支援病院)

(1) 穎田・庄内・鯉田・幸袋地区

担当: 穎田病院(96床)



(5) 稲築・碓井地区

担当: 社会保険稲築病院(144床)
西野病院(110床)



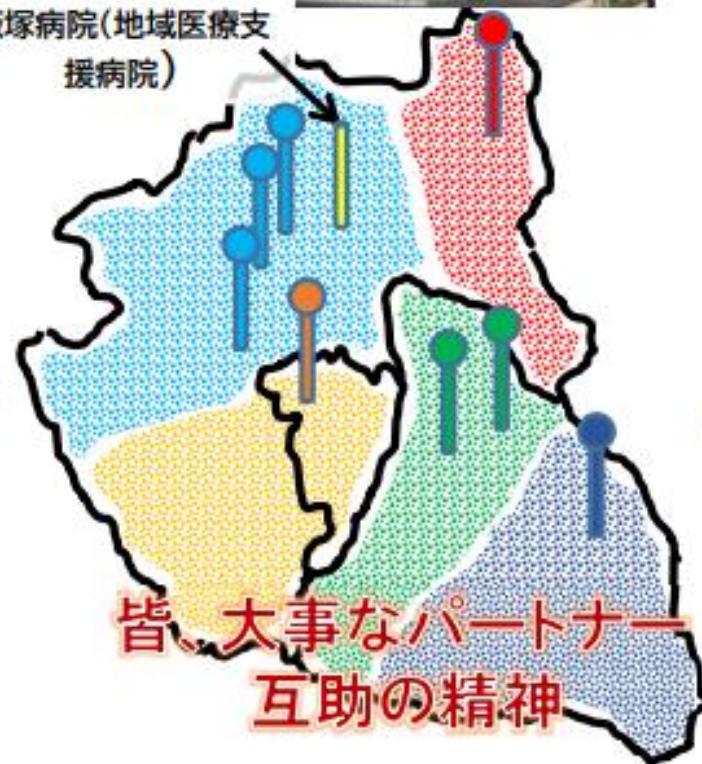
(3) 桂川町、筑穂、穂波西、穂波東地区

担当: 済生会飯塚嘉穂病院
(197床)



(4) 嘉穂・山田地区

担当: 嘉麻赤十字病院(135床)



皆、大事なパートナー
互助の精神

拠点病院の地域医療連携室が現場的コーディネーターとして活躍

地域の社会資源に精通している地域医療連携室が、医師会の地域包括ケア推進センターのハブ機能として、ブロック内の多職種と連携して、在宅医療機能強化充実事業と在宅医療介護連携推進事業浸透に大きく貢献している

- ・各ブロックの医療・介護関係者協議により、よりきめ細やかな課題抽出を可能とした。
- ・各ブロック毎に取組や評価等を数値化することにより、事業の達成状況を視覚的に把握できる他、多角的な視点での検討が可能とした。
- ・地域医療連携室が現場的コーディネーターとして企画・連携調整を行なうことで、専門職のみならず住民等多様な関係者・機関との多職種連携が促進され、ネットワークづくりの進展、事業の推進体制に寄与。
- ・ブロック内で、多職種が協議会参加や講師としての役割を担ってもらう等、現場的コーディネーターを通じて地域の人材育成を進め、協議体企画側の底上げにも寄与。

令和5年度 福岡県在宅医療充実強化支援事業情報交換会

とびうめネットの現状と今後について

令和6年3月15日（金）
公益社団法人福岡県医師会
常任理事 辻 裕二



令和元年度



令和4年度



市民の方が受けた医療・介護・健診の情報の一部（国保連の持つ医療機関名、傷病名、投薬、調剤、要介護度、認定期間、ケアマネ事業所名等の情報）をとびうめのネットワークを通じて、医療機関等で共有することにより、適切で迅速な医療の提供とスムーズな入退院支援を情報面から支える取組。

令和6年度よりとびうめ@おおかわみずまがスタート!!

今後について

- 行政保有データ（レセプト）を「患者基本情報」として共有する取組みについて、引き続き、県行政、各医師会とともに県内他地域への横展開を図る。

（最近の動き）

○大川市…令和6年2月 ・ 四者（県・県医師会・大川市・大川三潴医師会）協定を締結

令和6年度～ ・ 会員向け説明会を開催
・ 行政データの閲覧開始

○みやま市

○京都地域（行橋市、みやこ町、苅田町）…協定締結に向け調整中

○その他…県行政、郡市医師会とともに複数市町村へ同取組みの導入について説明・協議中

各地域における行政保有データ（レセプト）を活用した同取組みの導入について是非、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2) 小郡三井の現状と 今後についての確認

くるめ診療情報ネットワーク協議会

令和5（2023）年度第2回運営委員会 議事録

日 時：令和5年10月31日（火）19時から20時20分

場 所：久留米医師会館 会議室

出席委員：泉委員（久留米医師会）、田中委員（小郡三井医師会）、池田委員（大川三潯医師会）、
竹田津委員（久留米大学病院）中野委員（新古賀病院）、荒木委員（聖マリア病院）、
岩崎委員（嶋田病院）、深田委員（久留米市）、

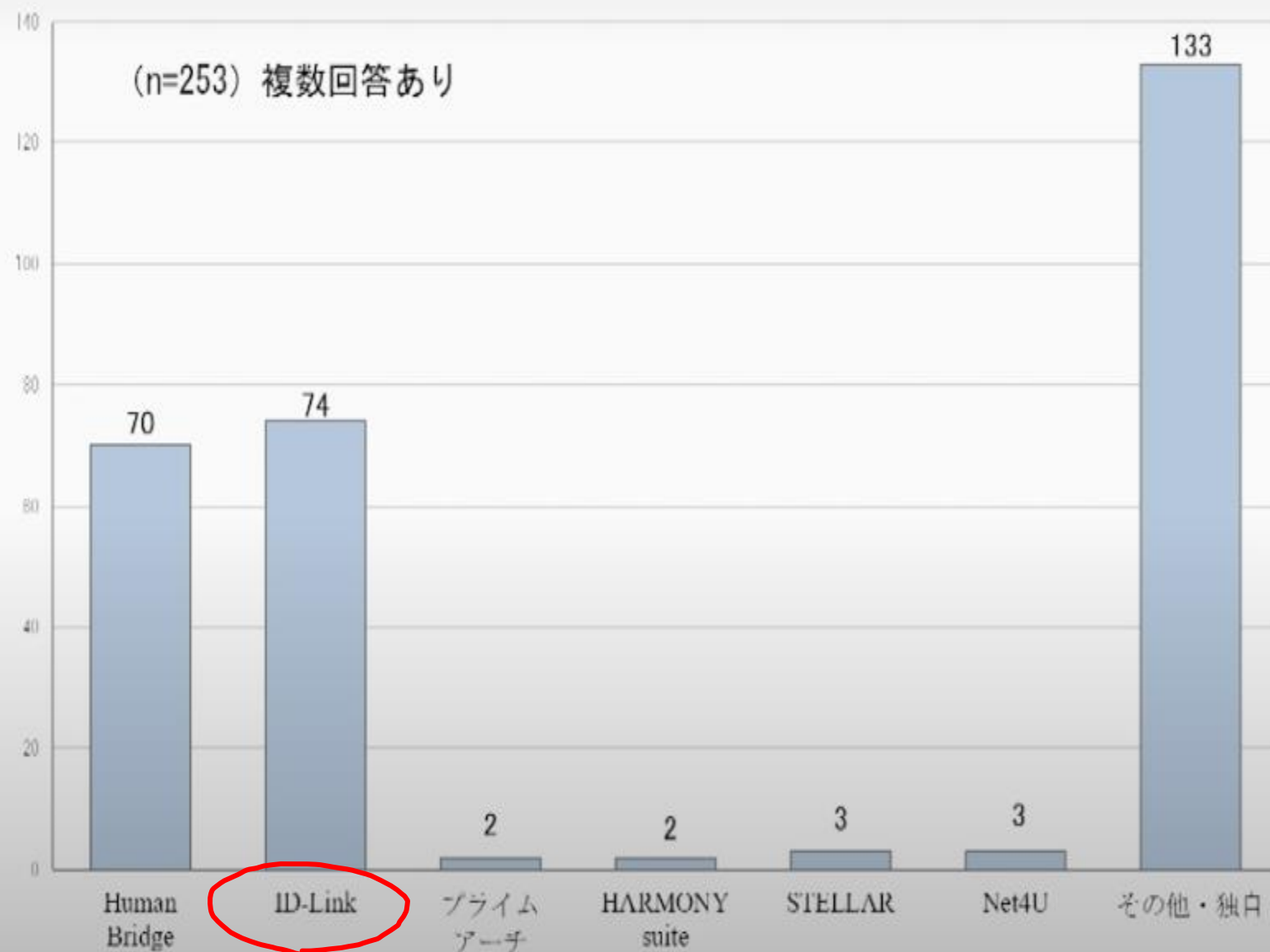
事務局：藤本（久留米医師会）、山田（久留米市）

多い順に

1) その他・独自 133

2) ID-Link 74

3) HumanBridge 70



多い順に

- 1) 診療情報の連携 183
- 2) 画像情報の連携 179
- 3) アンチウイルス機能 154
- 4) ネットワークセキュリティ監視 153



(n=220) 複数回答あり

ID-LINK普及により期待できること

- ①介護施設・在宅高齢者の急変時を想定した
情報シートの共有/**救急外来の負担軽減**
- ②施設・病院間の情報交換/治療方針コンサルト
空床状況等(パンデミック・災害時等も想定して)
- ③紹介状・介護意見書などやりとりペーパーレス化

小郡三井地域包括ケアシステム研究会の歴史

平成13年2月：「小郡三井地区介護保険研究会」発足 （介護保険導入）

（2001年） 毎年、研修会（1～2回）・部会又は合同部会（1～2回）を開催

【会員】 行政機関と入会を希望する医療機関・介護事業者 会費3,000円



平成26年4月：「小郡三井地域包括ケアシステム研究会」と改称

（2014年） 毎年、研修会（1～2回）・部会又は合同部会（1～2回）を開催

【会員】 行政機関と入会を希望する医療機関・介護事業者 会費3,000円



平成29年4月：「小郡三井在宅医療・介護連携支援センター」開設（丸山病院 敷地内）

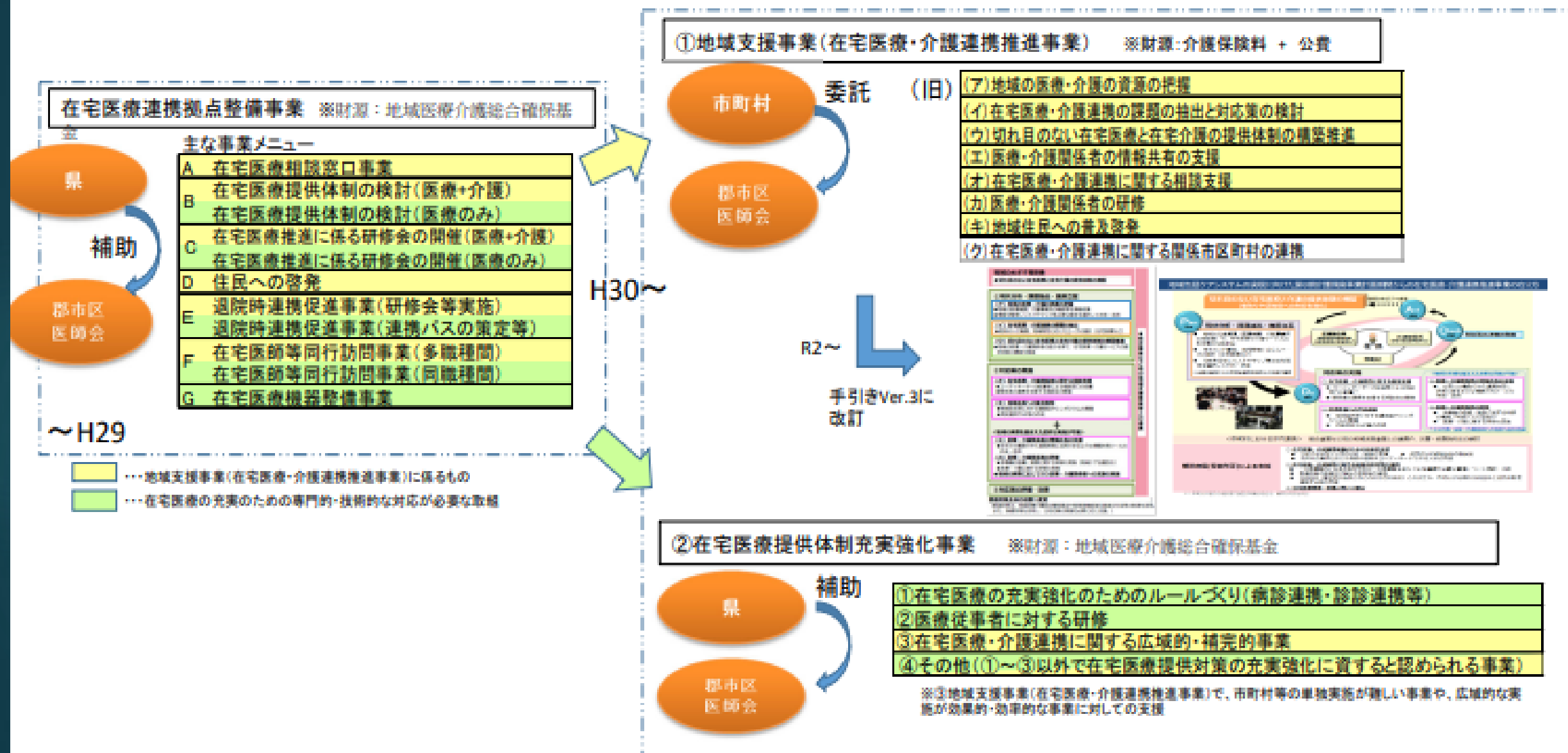
（2017年） 小郡市・大刀洗町・久留米市からの委託事業となる



平成30年～：「在宅医療・介護連携センター小郡三井」に改称 （小郡三井医師会内に移転）

（2018年）【会員】 管内の全医療機関・介護事業所などが対象となる 会費なし

①地域支援事業、②在宅医療提供体制充実強化事業の整理



	項目	これまでの主な事業実績（市町村・県事業）	
市町村事業	(ア)地域の医療・介護資源の把握	○ホームページ「医療・介護ガイドマップ」作成： H29年度～ 随時更新	
	(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出	小郡市・大刀洗町直営	
	(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	○在宅医療・介護連携センター小郡三井実行委員会（以前は「役員会」）：H13年～ 毎年2～3回開催	
	(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	○相談窓口開設 ： H29年度～	
	(キ)地域住民への普及啓発	○在宅医療啓発講演会 ：H30年11月～ 毎年1～2回開催 ○住民対象出前講座 島田会長による講話「在宅医療とACP」：R元年6月～ 毎年25回前後開催 ○人生会議（ACP）ノート「もしもの時に」作成：（初版）H31年4月、（改訂版）R4年7月	
	(工)医療・介護関係者の情報共有の支援	○「退院調整ルール」の手引き 作成・配布 ：（初版）R元年5月、（改訂版）R3年11月	
	(力)医療・介護関係者の研修	○医療・介護に関する研修：H13年～ 毎年1～2回開催 R4年度：11回開催 令和5年度：8回開催 ○多職種連携研修会：H13年～ 毎年1～2回開催 ○高齢者施設への出張研修会：H31年2月～ ○専門職対象 ACPノート「もしもの時に」の使い方説明会：R元年5月3回開催	
県事業	福岡県在宅医療提供体制強化事業	在宅医療に関する医療機器の無料貸し出し：H31年4月～ 吸引機・ネブライザー・点滴スタンド・小型エコー・小型心電計・輸液ポンプ 小型シリンジポンプパルスオキシメーター・褥瘡予防マットなど	
		○在宅医療従事者の人材確保・育成を目的に実施する専門性の高い研修及び同行訪問研修の企画・運営 ・令和元年：同行訪問研修 病院看護師→訪問看護師に同行 ・令和5年10月：訪問看護師対象 ELNEC-Jプログラムを利用した研修実施（朝倉医師会合同開催）	

福岡県在宅医療提供体制充実強化事業（県の事業）

令和5年度 在宅医療・介護連携センター小郡三井実施状況

(1)在宅医療充実強化のためのルール策定	
①病院、診療所間における在宅患者の休日夜間や容体急変時の対応ルール策定	未
②診療所間における在宅医が訪問診療や往診できない場合のバックアップルールの策定	未
③入退院に関する地域ルールの策定（連携パス策定など）	実施
(2) 医療従事者に対する研修	
①在宅医療従事者の人材確保・育成を目的に実施する専門性の高い研修及び同行訪問研修の企画・運営。テーマは限定	実施
②退院時の連携促進を目的に実施する訪問看護ステーションと医療機関の退院支援部門との相互研修	未
③在宅医を導入するための研修	未
(3) 在宅医療・介護連携に関する広域的・補完的事業	
①医師会単位で作成している入退院時のルール等が、医療機関の所在地と自宅（施設）の所在地が医師会の区域をまたがる場合にも適用できるよう広域的な連携を行う事業・在宅療養者に係る協議会の設置（広域連携に関する課題と解決方法）・開催・事例検討会の開催	未
②小規模市町村において単独実施が難しい事業や医師会単位で広域的に実施することが効果的・効率的である事業の開催	実施
(4) その他	
①とびうめネットを地域で活用するための検討会など	未
②県が主催する在宅医療・介護連携関係事業への参加	実施
③個人の診療所では吸入が難しい在宅医療機器の購入・又は賃貸借及び保守管理	実施

先生方にご相談したい内容

- ①小郡三井地域の地域連携ネットワークシステムとして
ID-LINK を進めていきます
- ②小郡・三井在宅介護・医療連携センター職員補充について